

「牧場」と書いて「ぼくじょう」とも「まきば」とも読みます 「まきば」のほうが どこなく牧歌的なのどかさを持った響きです 北軽井沢の大屋原には 「まきば」と呼べるような畜産農家がいくつかあります このあたりでは牛の放牧は稀で 厩舎での飼育が主流なのですが サイロありマンサードありで まさに「まきば」の要素を備えています 全部の農家を描いても飽きません



これが完成した絵です



1、空の表情 素早い重色で わずか2分で描ききっています



4、納屋のたたずまい トタン屋根のさびた感じをうまく



2、遠くの山は青+紫+濃い緑 それを薄く



5、マンサードは「まきば」の主役 屋根の角度をよく観察



3、針葉樹の表現 立体感は緑の絵の具の塗り方で



6、サイロはいい部品です 左側に影をつけて 立体的に